

# DMSD-シリーズ 取扱説明書

この度は、ボンコート製はんだこてDSSシリーズをお求め頂き誠にありがとうございます。  
この説明書をお読みになり、正しくご使用下さるようお願い致します。



写真はDP30仕様

## ■ 使用上の注意

- 濡れた手で触らないで下さい。感電事故の危険性が有ります。
- こて先は高温になっている為、火災・火傷に注意して下さい。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 製品の分解や改造を行わないで下さい。火災・故障・感電等の原因になります。
- 製品のメンテナンス(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)を行こなう際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、こて先が冷めた事を確認してから行って下さい。
- 交換部品(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)は、必ず純正部品をご使用下さい。
- 純正部品以外の部品を使用すると故障の原因になります。

## ■ 2線式(2PNN・2EPVコード)の仕様

※全長・重量はコード部除く

型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先(ルツボ)	制御温度	絶縁抵抗	重量(g)	外寸	ルツボ内寸
DMSD-140-10-2PNN	40W	AC 100V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG10-DP10	50~ 500℃	20MΩ 以上	465	80Wx285Lx60H	φ10x深10
DMSD-165-15-2PNN	65W			SGP10-DP15			490	80Wx285Lx60H	φ15x深10
DMSD-1100-30-2PNN	100W			SG12-DP30			620	80Wx285Lx67H	φ30x深18
DMSD-240-10-2EPV	40W	AC 220V		SG10-DP10			465	80Wx285Lx60H	φ10x深10
DMSD-265-15-2EPV	65W			SGP10-DP15			490	80Wx285Lx60H	φ15x深10
DMSD-2100-30-2EPV	100W			SG12-DP30			620	80Wx285Lx67H	φ30x深18

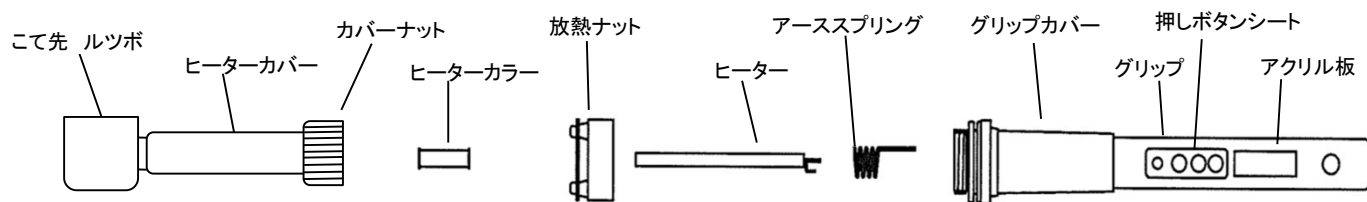
## ■ 3線式(3PCHI・3EPVコード)の仕様

※全長・重量はコード部除く

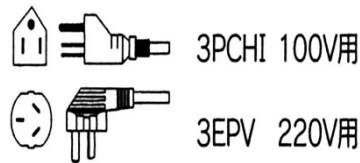
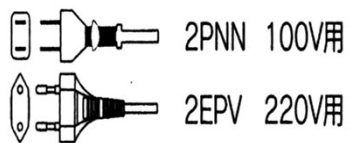
型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先(ルツボ)	制御温度	リーク電圧	アースライン抵抗	重量(g)	外寸	ルツボ内寸
DMSD-140-10-3PCHI	40W	AC 100V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG10-DP10	50~ 500℃	2.0mV 以下	2.0Ω 以下	465	80Wx285Lx60H	φ10x深10
DMSD-165-15-3PCHI	65W			SGP10-DP15				490	80Wx285Lx60H	φ15x深10
DMSD-1100-30-3PCHI	100W			SG12-DP30				620	80Wx285Lx67H	φ30x深18
DMSD-240-10-3EPV	40W	AC 220V		SG10-DP10				465	80Wx285Lx60H	φ10x深10
DMSD-265-15-3EPV	65W			SGP10-DP15				490	80Wx285Lx60H	φ15x深10
DMSD-2100-30-3EPV	100W			SG12-DP30				620	80Wx285Lx67H	φ30x深18

(注)リーク電圧、アースライン抵抗は初期値です。

■構造



電源プラグ形状



■交換部品

型番	消費電力	入力電圧	交換ヒーター	交換用ルツボ	ヒーターカバー	カバーナット	ヒーターカラー	放熱ナット	アーススプリング (3線式)		
DMSD-140-10-2PNN	40W	AC 100V	CES-100-40E	SG10-DP10	こて先一体型	こて先一体型	SUC-10	NA-11D	-		
DMSD-165-15-2PNN	65W		CES-100-65E	SGP10-DP15			SUCP-10	NA-20D	-		
DMSD-1100-30-2PNN	100W		CES-100-100E	SG12-DP30			SUC-12	NA-30D	-		
DMSD-240-10-2EPV	40W	AC 220V	CES-220-40E	SG10-DP10			SUC-10	NA-11D	-		
DMSD-265-15-2EPV	65W		CES-220-65E	SGP10-DP15			SUCP-10	NA-20D	-		
DMSD-2100-30-2EPV	100W		CES-220-100E	SG12-DP30			SUC-12	NA-30D	-		
DMSD-140-10-3PCHI	40W	AC 100V	CES-100-40E	SG10-DP10			こて先一体型	こて先一体型	SUC-10	NA-11D	ECS-5
DMSD-165-15-3PCHI	65W		CES-100-65E	SGP10-DP15					SUCP-10	NA-20D	
DMSD-1100-30-3PCHI	100W		CES-100-100E	SG12-DP30					SUC-12	NA-30D	
DMSD-240-10-3EPV	40W	AC 220V	CES-220-40E	SG10-DP10					SUC-10	NA-11D	
DMSD-265-15-3EPV	65W		CES-220-65E	SGP10-DP15	SUCP-10	NA-20D					
DMSD-2100-30-3EPV	100W		CES-220-100E	SG12-DP30	SUC-12	NA-30D					

共通部品

- ・グリップカバー:GC-R
- ・グリップ:GK-DS
- ・押しボタンシート:DS-STR
- ・アクリル板:DS-AK

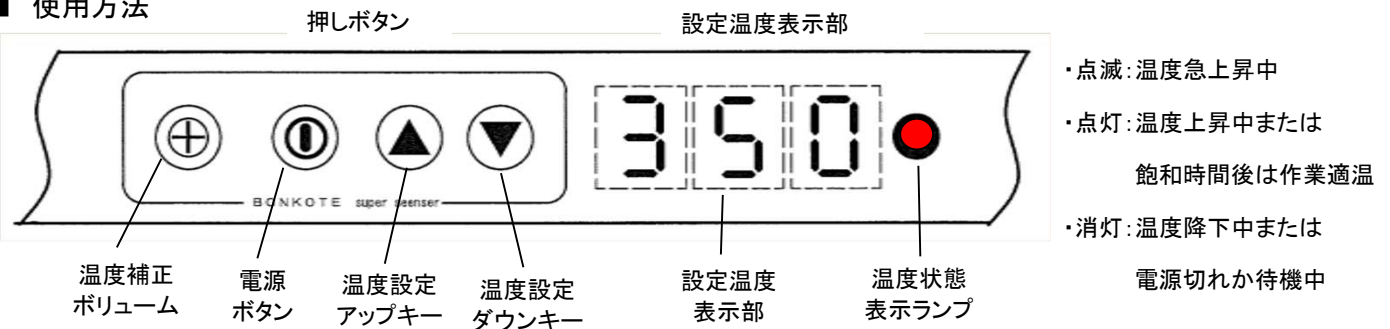
当社製、計測器・センサーも合わせてご利用下さい。

こて先温度計  
本体:MCA-900 II

デイップ用センサー  
SC-007

こて先センサーユニット  
SAT-1

## ■ 使用方法



- ・点滅: 温度急上昇中
- ・点灯: 温度上昇中または飽和時間後は作業適温
- ・消灯: 温度降下中または電源切れか待機中

1. はんだこてと接続する電源の電圧が同じであることを確認してください。電源プラグをコンセントに差し込みます。設定温度表示部に「—」の表示が出たら、はんだこてに通電され待機状態になっております。
2. 電源ボタンを3秒以上の長押しをして下さい。初期設定温度「350」が表示されヒーターに電源が入ります。表示されたら電源ボタンを離します。
3. 設定温度の変更は、温度設定アップキーかダウンキーを寸押し、または長押しで行います。寸押しは1℃単位、長押しは10℃単位で変化します。熱容量の大きい電線の作業を連続して行う場合は、温度降下を考慮して高めに設定が必要です。
4. 立ち上げ時は、ルツボ中のはんだが全部溶解し、さらに温度上昇し、しばらくして温度が安定化してから使用されることをお奨めいたします。下表は、各はんだこて毎のはんだの温度上昇の状態到達時間を表しております。
5. 温度補正ボリュームは、設定温度と、溶解はんだの温度の差を補正する事が出来ます。出荷時はボリューム調整を行っております。
  - ・右回し: こて先の温度が高くなる。
  - ・左回し: こて先の温度が低くなる。
 ※ 温度補正ボリュームは中央の位置から左右に120度まわります。
6. こて先温度計を用いた、溶解はんだの温度の測定は、下表の設定値到達時間を経過してから行うと、誤差の少ない値が求められます。
7. 作業終了後は、電源ボタンを3秒以上の長押しをしてください。設定温度表示部が「—」の表示になり温度状態表示ランプは消灯に変わります。表示部を確認したらボタンを離します。再起動時の設定温度は最後の設定温度から始まります。
8. 長期間はんだこてを使用しない場合でも、再起動時の設定温度は最後の設定温度から始まります。
9. 設定温度のロックは、アップキーとダウンキーの同時長押し3秒以上で成立します。再度同じ操作で解除されます。

温度補正ボリューム



精密十ドライバー使用

◆ 立ち上げ時は、安定化時間を経過してからのご使用をお奨めいたします。 ◆ 全溶解: はんだが全部溶ける。 ◆ 設定値: 設定値に到達する。 ◆ 安定化: 設定値の±10%に到達する。	設定温度 項目	到達時間(分:秒)					
		300℃			350℃		
		全溶解	安定化	設定値	全溶解	安定化	設定値
	DMSD-140-10	5分	8分	12分	3分	5分30秒	9分30秒
	DMSD-165-15	8分	11分	20分	4分	9分30秒	15分
	DMSD-1100-30	15分	20分	35分	8分	14分	25分

## ■ こて先及びヒーター交換方法

はじめに電源コードをコンセントから抜き、こて先が冷えている事を確認してから始めて下さい。

■こて先交換

1. ソルダーポットこて先のカバーナットを緩めます。

※ソルダーポットのこて先はカバーナット、ヒーターカバー一体型です。

2. 新しいソルダーポットこて先を組込みカバーナットで締めつけます。



■ヒーター交換

1. ソルダーポットのカバーナット、放熱ナットの順に外します。

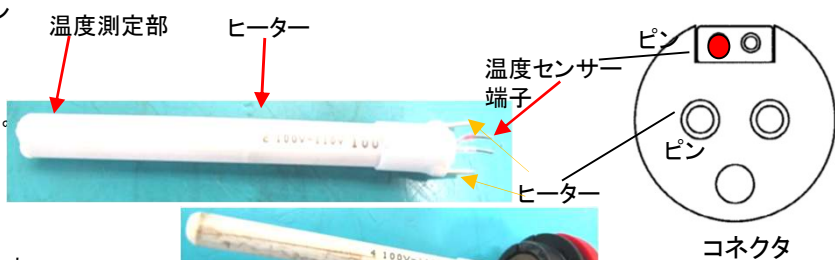
2. ヒーター端子と温度センサー端子を、

コネクタのピンから抜き取ります。

※コネクタがグリップから抜け出さない様に、抑えながら行います。



3. 新しいヒーターの温度センサー端子をコネクタのピンに挿入します。温度センサーには極性があるので、温度センサー端子とピンの赤マークを合せて下さい。



4. ヒーター端子をコネクタのピンに挿入します。

5. 放熱ナット、ソルダーポットこて先の順に組込みます。

ヒーターの接続



■ トラブルシューティング

現象	確認事項	推定原因	処置
長期間使用后通電されない	「---」(通電)の表示が出ていない	電源コードの断線か基板の故障	故障・修理
長期使用后こてが熱くならない	「E r 1」(エラー1)の表示が出ている	温度測定部の断線	ヒーターの交換
長期使用后こてが熱くならない	「E r 3」(エラー3)の表示が出ている	ヒーターの断線	ヒーターの交換
温度が設定温度に達しない	温度補正を行ったか	温度補正の未実施	温度補正の実施
ヒーター交換後こてが熱くならない	「E r 2」(エラー2)の表示が出ている	温度センサー極性士が逆になっている	極性士の合わせ
設定温度が変えられない	「350」(設定温度)の表示が出ている	設定温度のロックが入っている	ロックの解除

■ 保証について

当社の製品は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、あるいは運送中の事故等による故障を発見されましたら、お買い上げ頂きました販売店または、弊社までご連絡下さい。

■ アフターサービスについて

本機をご使用の際、調子が悪いと思われた時は、この説明書をもう一度ご覧になってお調べ下さい。それでも調子が戻らない場合は、お買い上げ頂きました販売店または、弊社までご連絡下さい。

日本ボンコート株式会社

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-14

TEL 029-241-2725

FAX 029-241-2726

http://bonkote.co.jp

Email: info@bonkote.co.jp